

是非、
この機会に！

窓のリフォーム 考えてみませんか？

2022年10月28日、家庭部門の省エネを強力に推進するため、窓のリフォームによる住宅の断熱性の向上や高効率給湯器の導入など、住宅の省エネ化への支援を強化することが閣議決定されたことを受け、11月8日に経済産業省、国土交通省及び環境省は、予算成立後に、住宅の省エネ化を支援する新たな補助制度の創設を発表しました。

「高断熱窓」採用の断熱改修工事の補助制度が開始！

対象期間／ 契約：令和4年11月8日～令和5年12月31日までに工事請負契約を締結

工事：令和4年12月中旬以降※に着工し、令和5年12月31日までに完工

※令和4年12月中旬予定の事務局開設日以降に着工したものが対象



「高断熱窓」採用の断熱改修工事

補助金額 5万円～ 最大 **200** 万円まで

※「高断熱窓」採用の断熱改修工事に対する補助が得られる制度が「住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等【経済産業省・環境省】」です。

《住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等 補助金制度概要》

- 対象期間 ／契約：令和4年11月8日～令和5年12月31日までに工事請負契約を締結
 工事：令和4年12月中旬以降※に着工し、令和5年12月31日までに完工
 ※令和4年12月中旬予定の事務局開設日以降に着工したものが対象
- 対象工事(戸建住宅) ／改修後の窓の性能が「熱還流率(Uw値) 1.9以下」を満たすもの
- 補助金額 ／5万円～200万円

工種	グレード	熱貫流率 (w/m ² ・k)	大きさの区分		
			大 ※1	中 ※2	小 ※3
内窓設置	S	Uw1.5以下	84,000	57,000	36,000
	A	Uw1.9以下	69,000	47,000	30,000
外窓交換 (サッシ交換)	S	Uw1.5以下	124,000	92,000	62,000
	A	Uw1.9以下	102,000	76,000	51,000

(単位：円、施工箇所1箇所あたり)

※1 大：サッシ(一箇所)の面積2.8㎡以上

※2 中：サッシ(一箇所)の面積1.6㎡以上2.8㎡未満

※3 小：サッシ(一箇所)の面積1.6㎡未満

※令和4年11月8日時点の概要となります。※住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業【経済産業省】及び断熱窓への改修促進等による家庭部門の省エネ・省CO₂加速化支援事業【環境省】の内容についての「戸建住宅・低層集合住宅における補助額」より抜粋しております。※出典元https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono_jyutaku/20221201_jigyounonaiyou.pdf

リフォームだけが対象の補助金ですが、予算1,000億円となっており、相当の力点が置かれています。
窓の性能アップは脱炭素社会への貢献にとどまらず、皆様の生活にも大きなメリットのあるリフォーム。
是非、この機会にご検討をお勧めします。

今後も注目が続く「住まいの高断熱化」!

国が掲げる最新の住生活基本計画^{※1}では、「2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、省エネルギー性能を一層向上しつつ、ライフサイクルでCO₂の収支をマイナスにするLCCM住宅の評価と普及を推進するとともに、住宅の省エネルギー基準の義務づけや省エネルギー性能表示に関する規制など更なる規制の強化」が基本的な施策として掲げられています。具体的目標としては、住宅ストックのエネルギー消費量の削減率(平成25年度比)を2030年に▲18%と記載されており、世界規模での地球温暖化対策の一環として既存住宅の高断熱化は一層の注目対象になることが想定されます。

※1国土交通省ホームページ「住生活基本計画(全国計画) 令和3年3月19日閣議決定」より※出典元<https://www.mlit.go.jp/common/001392030.pdf>

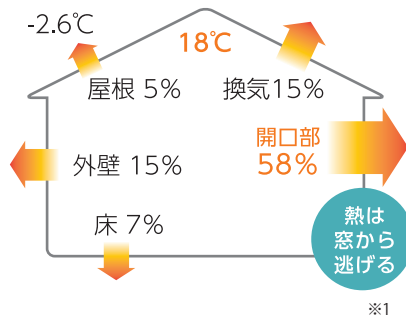
窓の断熱化リフォームのメリット

メリット① 快適性アップ

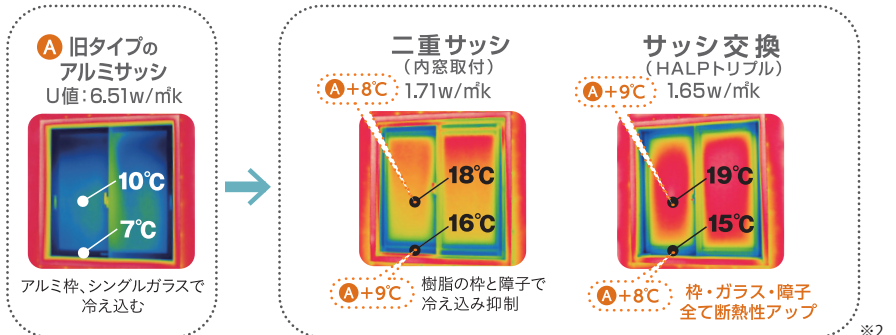
建物の中で熱が最も多く逃げるのは窓から、と言われています。「窓際が寒い/暑い」「室内に冷暖房のムラがあり不快」といった現象を抑えるためには、窓の性能アップが欠かせません。断熱効果で、真夏・真冬の窓際も不快感を抑え、結露や防音対策にもつながります。



■室内暖房時に熱が外へ流出する割合



■旧タイプのアルミサッシと各メニューの断熱性能を比較



※1建物の仕様により数値は異なります。出典：(一社)日本建材・住宅設備産業協会HP「省エネ建材で、快適な家、健康的な家」より
※2測定：YKKAP価値検証センター（測定条件：外温度0度／室内20度）

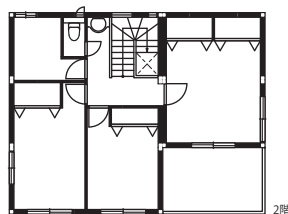
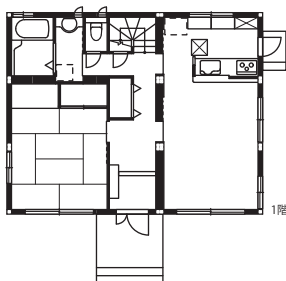
メリット② 省エネ性アップ

窓の性能が上がることによって冷暖房効率が高まり、消費エネルギーが抑えられるので、「CO₂排出量」「冷暖房費」の抑制につながります。電気代上昇リスクなどが今後も懸念される中、継続的・有効的な対策のひとつが断熱リフォームと言えます。さらに、国の後押しがある今は補助金により導入コストのサポートが受けられます。



■モデルプランにおけるサッシリフォームのシミュレーション

既存建物仕様	①リフォーム前建物UA値	①リフォーム後建物UA値	補助金万円	②省エネ量CO ₂ 削減kg/年間	③光熱費削減量円/年間
①モデルプランパルフェ88 (天井根太2×4、シングルガラスサッシ)	1.38	0.91	85.6万円	-755kg	-62,960円
②モデルプランパルフェ21 (天井根太2×6、ハイカットペアガラスサッシ)	1.1	0.84	98.9万円	-153kg	-12,740円



※【試算条件】・電力契約：東京電力「従量電灯B 契約容量50A」(2022年10月時点) ガス契約：東京ガス「一般料金」(2022年10月時点)・建築地：東京都、延床面積：125㎡・設備：換気24時間換気システム、暖冷房機器エアコン(間欠運転) 調理機器ガス、給湯機器エコジョーズ 間欠運転：暖房22℃設定、冷房26℃設定 LDK：6:00～10:00、12:00～14:00、16:00～22:00 寝室：21:00～23:00、他居室：20:00～23:00
※算出された光熱費・エネルギー量・CO₂排出量は、お客様の生活スタイルを推定して算出した予測値です。金額は目安であり、お客様の暮らし方、使用電化製品、生活スタイル、敷地の条件、地域周辺等の条件によって変わることがあります。

※掲載の写真はすべてイメージです。